

事務事業評価表 平成24年度

政策 政策の総合推進
 施策 施策の総合推進その5
 基本事業 施策の総合推進その5

事業名 **公共施設立木調査事業**

[0968]

部名	総務部	事業開始年度	平成23年度	実施計画事業認定	非対象
課名	総務課	事業終了年度	平成23年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 公共施設
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 公共施設内の立木について、立枯等による事故が発生しないよう適切な管理を行う
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 公共施設内の立木について、立ち枯れの有無等、その危険性について一斉調査を行なう なお、調査の過程において、緊急性が高いものについては、伐採する。

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	公共施設数	箇所			122	
対象指標2	事業費	千円			2,745	
活動指標1	公共施設数	箇所			122	
活動指標2	事業費	千円			2,745	
成果指標1	立木事故件数	件			0	
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	2,745	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	2,408	0
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	5,153	0

費用内訳	
23年度	委託料 2,745千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	公共施設の老朽化への対応として、適切な保全による施設の長寿命化に取り組む必要性が高まっている。
--------	--	-------------	---

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由
・
根拠は？

公共施設内の立木は施設管理の一環として適切に管理を行う必要がある。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

公共施設の管理は基礎的事務経費であり、基本事業への貢献は小さい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由
・
根拠は？

計画通り事業を実施

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

計画通り事業を実施

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由
・
根拠は？

必要最低限の調査経費と算定。